

概 況

1 畜種別取扱高

平成10年中の東京都食肉市場における畜産物の総取扱高は、頭数48万余頭、重量9万1千百余トン、金額1,028億7千余万円となっており、前年と比べ、頭数で0.3%減、重量で0.9%増、金額で3.1%の減となった。

畜種別にみると、牛の取扱高は、頭数14万6千余頭、重量6万2千余トン、金額893億7千余万円で、前年比は頭数で0.5%減、重量で1.2%増、金額で2.9%の減であった。

豚の取扱高は、頭数33万3千余頭、重量2万9千余トン、金額134億8千余万円となっており、前年比は頭数で0.2%減、重量で0.1%増、金額で4.4%の減であった。

(※参照 表1)

2 産地別取扱高

牛では、頭数、重量は、千葉県が2万4千余頭、9千3百余トンを出荷し、前年の第1位であった栃木県と入れ替わり第1位となった。千葉県の頭数は前年比で1.3%下回り、重量も0.5%減であった。

また、千葉県の食肉市場全体に占める割合（以下、この項において「構成割合」という。）は、頭数で16.6%、重量で15.1%に及んでいる。第2位は栃木県、第3位は頭数で宮城県、重量で茨城県となったが、宮城県は頭数、重量とも前年実績を下回り、頭数で1.6%、重量では0.5%減となった。金額では、栃木県が131億5千余万円で4年連続第1位となり、構成割合は14.9%となっている。以上の4県に岩手県を加えた「5県」の構成割合は、頭数で61.9%、重量で58.4%、金額で58.0%と全体の半数を超えている。輸入部分肉は、前年実績の重量で104.2%に増加、金額では81.6%に減少した。また、豪州、米国の2カ国の輸入重量は、全体の99.9%を占めている。

豚では、千葉県が頭数、重量、金額とも前年同様第1位となり、前年と比べ頭数で2.9%、重量で2.7%増加し、金額では3.4%減少した。千葉県、茨城県、岩手県の上位「3県」の構成割合は、頭数72.6%、重量63.6%、金額58.5%と全体の半数を超えている。輸入部分肉は重量で12.4%、金額で1.2%増となった。

(参照 表1～2)

3 年間市況

牛の全国取引頭数（成牛）は、131万余頭で対前年比1.4%減となっており、このうち東京都食肉市場の取引頭数は、14万6千余頭で全国取引頭数の11.1%を占めている。

東京都食肉市場における年間平均価格は、1kg当たり1,422円で、前年に比べ4.2%減（62円安）となっている。これを月別にみると、1月は1,438円と前年同月より5円高く始まり、2月以降では前年同月比を下回り、12月の1,526円（132円安）を除くと1,300円台後半から1,400円台前半を推移し、前年と比べ弱含みであった。

豚の全国取引頭数は、前年比0.3%増の1,706万7千余頭となっており、このうち、東京都食肉市場の取引頭数は、33万3千余頭で全国取引頭数の2.0%を占めている。

東京都食肉市場における年間平均価格は、1kg当たり459円で前年に比べ4.6%減（22円安）となっている。これを月別にみると、1月は437円と前年同月より33円高く始まり、2月は前年同月比で上回ったものの、3月以降9月までは下回った。6月に年間の最高値566円（前年同月と比べ2.6%減、15円安）を付けた。10月、11月は一端値を上げたものの、12月で前年同月を下回る価格となった。年間を通し平均価格は前年と比べ弱含みで推移した。